

放課後等デイサービス めいと・らぽおと

自己評価結果による改善目標

令和2年

(スタッフ8名回答)

チェック項目		改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練等スペースとの関係は適切であるか	・作業部屋、調理部屋、休憩部屋、共有フロアと定員に対して規定より十分な広いスペースを確保しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	・基本配置人数(3人)以上配置できるようにしています。今年度は、児童発達支援管理責任者1名、保育士3名、児童指導員3名、非常勤1名で利用人数や活動内容に合わせて調整しています。
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	・事業所が2階で階段があるためバリアフリーとは言えませんが、手すりは途切れないように付けさせていただいています。フロアは段差もなく過ごしやすくなっています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	・PDCAサイクルという明確な形では取り組んでいませんが、ミーティングは月に1度行い、必要に応じて改善策を考えております。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	・評価表のアンケート調査は今年で3年目になります。今年度は新型コロナでの代替サービスアンケートなども行い業務改善に繋げさせてもらっています。
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・評価結果をまとめて各ご家庭に送付すると共に、法人である【在友会】のホームページに公開させていただいています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	・現在は実施できていません。今後、どのような形で外部評価を行えるのか検討していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	・新型コロナの影響で今年度は外部研修の機会は減りましたが、夏休み以降から積極的に参加できるよう取り組み、研修報告も行っています。また、事業所内の研修として『ヒヤリハット』『権利擁護』等も定期的に行っています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	・アセスメントで聞き取ったニーズや計画書のモニタリングを職員全員で行い個別支援計画書に反映しています。相談支援で作成された障害児支援計画書も参考に作成させていただいています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・標準化されたアセスメントツールは使用しておりませんが、当事業所で独自のアセスメントツールを使用したり、面談でのヒヤリングを行ったりし把握するようにしています。(保護者様から検査結果を頂くことはありません)
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	・大まかな活動内容について月ごとにスタッフ全員で考え活動を決めています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	・その日の活動担当スタッフを決め、様々な視点で考えることで活動が固定化ないようにしています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	・平日と休日の活動内容はメンバーや利用時間を考慮して考えています。今年度は新型コロナの影響もあり、9月まで変則的な利用になり、平日・長期休暇共に活動を変更せざるを得ないことも多く、課題が曖昧になることもありました。
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・個別の課題と集団での課題をミーティングやモニタリングなどで話し合い、個々の計画書を作成しております。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・事前に決めていた活動内容を朝礼時に報告しています。班ごとの担当者がタイムスケジュールや担当、事前準備、目標などを他のスタッフと打ち合わせを確認しています。
	⑯ 支援終了後には職員間で必ず打合せをしその日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか	・支援終了後や送迎終了後に、気付いた点や改善点を話し合ったり、保護者様からの連絡事項なども報告しています。次の日には朝礼で、当日いなかった職員にも分かるよう振り返りを行っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげているか	・支援終了後、活動での様子や情緒、健康面などをケース記録に残し、モニタリングやミーティングの時に話し合い、次に活かせるようにしています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性の判断しているか	・6か月に1度、職員全員でモニタリングを行えるよう取り組んでいましたが、今年度はコロナ対策に追われモニタリングによる計画の見直しが遅れています。現在は遅れながらも少しずつ進めている状況です。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・利用されるメンバー構成や利用時間などによって運動、課題活動、調理、季節の創作など複数組み合わせ活動を行なうようにしています。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	・児童発達管理責任者またはリーダーが参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・基本的には保護者様を通して学校の情報をお聞きしています。年間計画は学校からいただくこともあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・現在、医療的ケアが必要なメンバーはいません。てんかんなどの発作がある方には状態や対処法を記入していただいております。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・基本的には保護者様から面談時に聞き取りを行っております。相談支援事業所を通じて情報を聞くことが多いです。
	㉔	学校を卒業し放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・同法人内には支援を行ってきた内容、本人の様子を書面にしたり口頭で伝えたりしています。他事業所から情報提供を求められた場合は、保護者様の了承を得てから行っております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	・必要に応じて研修には参加しておりますが、定期的な連携は行っておりません。今年度はコロナ感染予防のため、前半は研修参加を見合わせていましたが、後半から様子を見ながら参加させていただいております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	・交流の機会はありません。近隣の公園などで遊んでいる児童と自然な流れで遊ぶことはあります。前回のアンケートでは「交流の必要があるのか」というご意見もあり、交流の機会は設けておりません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	・現在、自立支援協議会自体が活発に動いていないので参加もしておりません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・送迎時や連絡帳を通してやり取りをしています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・ペアレント・トレーニングとして保護者様に対しての支援は行っておりません。ペアレント・トレーニングができるスタッフの育成が必要だと思っております。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・運営規定や利用者負担については契約時に書類を用いて詳細を説明しています。支援の内容や利用者負担額が変更になった場合は、年度初めに書面にてお知らせしています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	・保護者様から相談があれば随時お話を伺い、できる限りの助言を行っております。
	㉒	父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により保護者会同士の連携を支援しているか	・今年度は気軽に参加していただける保護者会を年2回開催しようと年間計画には入れておりましたが、新型コロナ感染防止のため、中止いたしました。コロナ収束が見られた時には開催したいと思います。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・契約書に苦情解決委員会というものを記載しております。日頃の苦情につきましてはマネージャー（責任者）、リーダーがお話を伺っております。
	㉔	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・年3～4回『めいと・らぼと通信』を発行し活動の様子を報告しています。長期休暇の特別な活動については申込用紙と共に内容をお知らせしています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	・ミーティングや内部研修などで個人情報の取り扱いについて十分注意するように話をしています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・イラストや写真、スケジュールなどの視覚支援やそれぞれの特性に応じた分かりやすい方法で伝えています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	・サポートセンター（当事業所が入るビル内）全体での行事を今年も計画予定していましたが、コロナ禍の中、開催は難しいとのことで中止になっています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	・事業所でのマニュアルはありますが、保護者様にはお知らせしておりません。契約時に警報発令時や感染症流行時の対応についての資料はお渡しし説明していません。今年度は緊急時の対応についても書面で送らせていただきました。
	③⑨	非常災害の発生に備え定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・5月に避難訓練、9月に通報訓練を職員間で行っています。12月にも地震や火災発生などを想定した訓練を行う予定です。メンバーが利用中の訓練は行っていません。
	④⑩	虐待を防止するため職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・事業所内研修で虐待防止についての研修を10月に行っています。例を挙げて「こんなことも虐待になる」ということを分かるような内容で研修をしています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	・上記の虐待防止の中で身体拘束についての説明もしています。本人や周りの人に危険が生じる等どうしても拘束が必要となる場合があれば計画書に記載していきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	・面談時に保護者様よりアレルギーの有無を聞き取り、食べてはいけないものをスタッフ間で周知できるようにしていますが、医師からの指示書は頂いておりません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・ヒヤリハットの報告書は作成し、事業所内で共有しています。過去のヒヤリハットも振り返る機会を設け危険予測が出来るよう研修も行っていきます。